



同窓会だより

校訓
 けいしん あいち
 敬心 愛知
 けんし りょっこう
 堅志 力行

広島県立三原高等学校第75回卒業生を、同窓会新会員として迎えました。

ご卒業おめでとうございます

同窓会長 戸野 法史 (23回生)

三原高校での学びを終え今日の佳き日を迎えられた卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。また、三年間、陰に陽に支えてこられた保護者の皆さまにおかれましても、その喜びは一入のことと拝察いたします。



三原高等学校同窓会にとりましても、卒業生の皆さまを新たに「75回生」として本会にお迎えできることを嬉しく思っています。

さて、卒業は別れの時であるとともに、新たな旅立ちの時でもあります。今まで皆さんを周りから温かく見守っていた穏やかな人間関係から離れ、それぞれの場所でそれぞれの時間を過ごされることとなります。

それは、一人の人間として自律した時間を過ごすことに他なりません。誰かに頼ることなく、自らの判断で多くのことが決められる、「自由になった」とワクワクする気分の大きいものではありませんが、それと背中合わせに不安もまた強いものです。それでも、卒業される皆さんには、多くの人が一度は通過してきたように「自分で判断してください」とお願いしたいのです。

「判断しない」ことは停滞していることに他ならないので、とにかく何かを自分で判断していただきたいのですが、その選択肢は二つだと思っています。

一つは現状を受け入れることであり、もう一つは現状を変えることによって生ずる責任を受け入れること、このどちらかです。満足できない現状があるなら、それを変えるよう行動し、その結果を受け入れることができれば良いだけのことです。

これらの判断と行動を繰り返すことによって、満足できる現状に変えられる可能性もまた増えてきます。一つ一つの現状を変えようと勇気を持って判断し、前を向いて着実に行動することが成功への秘訣です。

耐雪梅花麗

三原高等学校 校長 大久保 信行

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんは、新型コロナウイルスの影響で高校生活の大半をマスクと共に過ごすなど新型コロナウイルスに翻弄される3年間でしたが、校訓「敬心愛知 堅志力行」のもと、3年間、学習、学校行事、部活動にと、日々熱心に取り組んできました。しかし、当たり前になっていたものが、実はいつも当たり前ではないという経験は、逆にそれらがいかにか大切なものであったかを改めて学ぶ機会となったと思います。



こうした様々な経験をしながら、晴れの卒業式に臨む今、皆さん一人ひとりの心の中にはどのような思いが巡っているのでしょうか？

嬉しかったこと、苦しかったこと、悩んだことなどそれらの全てが確かな成長の糧となったはずです。一人ひとりのこれまでの努力に改めて拍手を送ります。しかしそこには、皆さん自身の努力はもちろんですが、保護者・御家族の理解、地域の方や先生方の応援があったことを忘れてはいけません。

卒業生の皆さんに次の言葉を紹介します。「耐雪梅花麗」。この言葉は、明治維新の指導者である西郷隆盛の言葉で「人間は苦難や試練に耐え、それを乗り越えた時に大きく成長出来る」と解釈されています。明治維新後の激動の時代を困難に負けることなく強い心をもって生き抜いて欲しいと西郷隆盛が甥に詠んで送った名言です。

実は、広島東洋カープで活躍された黒田博樹投手が“苦しまずして栄光無し”という思いから、この「耐雪梅花麗」という言葉を座右の銘に投げ続けていたそうです。

梅の花は、冬の雪や厳しい寒さを耐え忍ぶからこそ、初春に美しい花を咲かせ、かぐわしい香りを発します。

試練や苦難を耐えて乗り越えれば、大きく見事な成長が待っているという例えです。つまり、大成するには忍耐が不可欠だということなのです。

今、世界中が先行きの見えない不安定な状態にあります。あまりにも理不尽な状況に怒りが収まらない時や、思いがけない事からトラブルに巻き込まれたり、予期せぬ事態に陥ったりして、人には言えない苦しみや悲しみを抱えることで心が折れそうになる時があるかもしれません。

皆さんには、黒田博樹投手の様に「耐雪梅花麗」という言葉を胸に、苦難や試練を耐えて乗り越えれば、きっと大きな成長が待っていると信じて人生を歩んでもらいたい。この厳しい環境を力に変え、見事な花を咲かせることができるよう、今後の御活躍を期待しています。

今春 75 回卒業生となる皆様への祝詞

同窓会関西支部

支部長 田中 道裕 (1967 年卒・18 回生)

皆様、この度はご卒業おめでとうございます。

今年は正月元旦に能登半島中心に大規模地震が発生し、多くの死傷者が発生するという大波乱の年明けとなりました。被災者の皆さんには衷心より哀悼の意を捧げるとともに、被災地の一刻も早い復旧・復興を祈念申し上げます。

さて、皆さまは創立 103 年の歴史を持ち、累計卒業生 30,000 人にならんとする伝統ある広島県立三原高等学校同窓会の一員になられます。先輩の一人として心より歓迎いたします。これまでの親御さんの下を離れ、これからは何でも自分で自由に判断し行動出来ることとなりますが、その代わりに結果は自己責任となる自覚が強く求められます。

戦後ベビーブーマーの時代に生まれた私の世代は、どこに行っても人数が多い故の競争が激しく、振り落とされないためには常に周り（人）を意識しなければならぬ習性が身に付いたように思います。しかしながら、現在さらに今後加速されると思われる高度な情報社会で生き抜く皆様の注視すべき相手は「IT の進捗状況」という透明で無機質なモノのような気がします。IT の習熟度がこれからの皆様の人生を大きく変



えると見えています。

昨年 11 月の新聞報道では、三原市本郷町の産業団地に IT 大手「グーグル」グループが 10 年をかけ、1,000 億円を投資して大規模データセンターを建設とのこと。これが本当に実現するのであれば、三原市一帯は大きく変貌しますね。

お話が少し脱線しましたが、かかる状況の変化は今後いくつも起こってきます。常に世の中の動きを注視しておくことが肝要と思います。

「人生 100 年」は、皆さまの世代では決して夢物語ではなくなっているかもしれません。

健康管理を怠ることなく、これからの長い人生を十分にエンジョイしてください！

◇関西に移住を計画されている方は、是非とも以下同窓会関西支部に連絡を下さい。

年齢層の厚い 90 人余りの会員が皆様の入会をお待ちしています。

同窓会関西支部の連絡先：

支部長 田中道裕 090-7762-3733

tanaka.mikev@gmail.com

幹事長 平川 修

osamu.asahikawa@gmail.com

活躍する卒業生 故郷への貢献

ベイス株式会社

代表取締役社長 吉村 公孝 (42 回生)

私は 1988 年に三原高校に入学し、バスケット部に所属していました。

当時の私は学歴主義思想的な思想に反発していたこともあり、勉学はそこそこにクラブ活動や友人との時間を優先する高校生活でした。当時は先生たちにも反発的な態度を取り、ご迷惑をおかけすることもあったのですが、先生のご指導のおかげもあり、無事に卒業することができました。

三原高校卒業後は、岡山の大学に進学しましたが、大学卒業後に会社員になることに興味を持てなかったため、勉学や就職活動には身を入れず、アルバイトと遊びばかりの大学生活を過ごしていました。

ただ大学生のころから自立意識が高かった私は、将



来独立・起業することには興味があり、将来の起業のネタを探すことを目的に就職先を決めました。

その就職先で出会ったビジネスが、現在私が経営するベイス株式会社の子業になるモバイルエンジニアリング事業でした。私は就職後1年半で通信のエンジニアとして個人事業で独立し、その後2000年に広島で法人化、2005年には東京に進出し事業を全国に拡大、2021年には東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場することが出来ました。

現在は、三原市が主催している「スタートアップ創出シティカレッジ」の支援や一般社団法人広島イノベーションベースを設立し、地銀、メディア、大学等と連携しながら県内の起業家育成を通じた地域貢献活動にも力を入れています。

学生時代は将来が見えず悶々とする時期を過ごしていましたが、今は公私ともに充実した人生を歩めています。

今振り返ると三原高校で過ごしたあの時期があったから、今の自分があるのだと感謝しています。

これからも微力ではありますが、故郷への貢献活動を通じて、その感謝の気持ちを表していこうと思いません。

活躍する卒業生

「ありがとう」の気持ちを忘れずに

(有) 栄光自動車

田浦 憲悟 (48 回生)

今回は栄光自動車を訪問し、田浦憲悟さんとご家族の皆様インタビューし、その内容を編集しました。

◇ご家族皆様が三原高校の卒業生だと伺いましたが？

田浦：両親は共に21回生です。姉は46回生、私も48回生ですから、生粋の同窓生一家ということになります。

◇栄光自動車の創業はいつですか？

田浦：父が昭和59年に現在の店舗と整備工場を構えている宮浦で起業しました。その当時、店舗の周りには何もなくて、宮浦中学校があるぐらいだったそうです。私は幼稚園の頃からこの整備工場に来ては遊んでいました。整備士のお兄さんたちにもよく遊んでもらった



記憶があります。しかし私が中学2年生の時、父が病気で倒れ、会社の経営は母が引き継ぐことになりました。私も両親の役に立ちたいと思ってはいましたが、この時はまだ漠然としたものでした。

◇三原高校時代の思い出は？

田浦：高校の3年間はサッカーに熱中しました。当時のサッカー部は自分たちでメニューを考えて練習していましたし、自由闊達な雰囲気があって、そのおかげでしょうか今でも皆仲が良く、年に数回は会うような関係が続いています。

父の看病と会社の経営で忙しいにもかかわらず、サッカーをさせてもらった母には感謝しかありません。

◇卒業後は自動車短大への進学を決められたのですか？

田浦：父から跡を継いで欲しいと直接言われたことはないのですが、何か流れのような、整備士になるのが当たり前のような雰囲気だったので、自動車短大を進学先に決めました。後になって、「父さんは喜んでたのよ」と母から聞かされました。

◇卒業後はすぐに会社を継がれたのですか？

田浦：いいえ。整備士の資格を取得し、トヨタ系のディーラーに就職しました。それから2年後、私が22歳の時に父が亡くなりました。いずれは父と一緒に仕事がしたいと思っていたのですが、それは叶わぬ夢となりました。もう少しディーラーで勉強したいと思っていたのですが、当時の所長から、「家族のためにも一刻も早く家に戻れ」と諭されて帰って来ました。今では父の遺志を継ぎ、母と姉と共に会社の経営に取り組んでいます。

◇お母さまにお伺いしますが、憲悟さんの働きぶりはいかがですか？

母：息子は、お預かりした車の故障の原因が判明するまで時間を忘れて探究し続けることができます。この点は父親譲りだなと感じています。幼い頃から工場を遊び場のようにして育ちましたので、整備士の仕事は息子にとってまさに天職だと思います。

◇経営方針は？

田浦：自動車産業は電気自動車へと急速にシフトしていますので、電子制御の技術も習得しその時代に合せて仕事を継続することだと思っています。この会社の設立当初から変わらないのは、お預かりした車をきちんと整備してお客様の元にお返しすることだと思っています。

三原高校時代の先生や友人、多くの方にお客様になって頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。「あり

がとう」の気持ちを忘れず、日々精進していきます。
◇ご家族の皆様にはお忙しいときに伺いましたが、ご協力に感謝します。ありがとうございました。

三原高校器楽部OB会のご紹介

三原高校器楽部OB会

会長 高下昌宏

『三原高校器楽部OB会』は、その名のとおり三原高等学校器楽部のOBGを会員対象として、「OB相互の親睦を深め、三原高校器楽部の発展に寄与する」ことを目的に、1999年12月に発足された会で、今年で発足25年になります。



現在の会員数は約100名で、三原高校器楽部現役生が行う演奏会のサポートや年1回の総会、会報の発行などを行っています。毎年三原高校器楽部の定期演奏会では、楽器の積み込み及び運搬、舞台設営、舞台転換、ステージ管理などのサポートを行い、今年も3月23日(土)に開催される「三原高等学校器楽部第43回定期演奏会」においてサポートさせていただく予定です。

また、音楽活動として、三原市人権文化センターを練習拠点として、週1回程度の練習を行い、夏の定期演奏会を中心として、さつき祭りや浮城まつりなど三原市内で行われるイベントでの演奏や福祉施設、幼稚園、保育所などへの訪問演奏を行っています。

定期演奏会では、三原高校器楽部現役生達が受付や舞台転換などのサポートをしてくれ、お互いに演奏会をサポートし合うことで親睦を深めています。今年の定期演奏会は8月25日(日)に本郷生涯学習センター「にいたかホール」にて開催する予定です、三原市内では珍しいマーチングステージが毎年好評です。時間のある方は是非お越しください。

今後も器楽部OB会では、様々な場所で音楽活動をする予定ですので、見かけた際には足を止めて私たちの演奏に耳を傾けていただければと思います。

【令和5年の活動】

3月26日(日)

三原高等学校器楽部第42回定期演奏会サポート

5月3日(水)

第6回小早川隆景杯軟式少年野球大会ミニコンサート及び開会式演奏

5月22日(月)

第47号会報発行

7月1日(土)

社会を明るくする運動三原市推進大会アトラクション演奏

7月8日(土)

人権文化センタータ涼みコンサート

10月31日(火)

第48号会報発行

11月5日(日)

浮城まつり ステージ演奏

11月19日(日)

人権文化センター文化祭 ステージ演奏

12月16日(土)

三原高校器楽部OB会総会

【令和6年の活動予定】

3月23日(土)

三原高等学校器楽部第43回定期演奏会サポート

5月上旬

第7回小早川隆景杯軟式少年野球大会ミニコンサート及び開会式演奏

5月下旬

三原さつき祭りパレード演奏

第49号会報発行

7月上旬

人権文化センタータ涼みコンサート

8月25日(日)

三原高校器楽部OB会第23回定期演奏会

10月下旬

第50号会報発行

11月上旬

浮城まつりステージ演奏

11月中旬

人権文化センター文化祭ステージ演奏

12月中旬

三原高校器楽部OB会総会

※イベントでの演奏は、イベントが開催されなかった場合、演奏依頼がなかった場合は行われません。また、新規の演奏依頼を頂いた場合は追加となります。



編集・発行

広島県立三原高等学校同窓会

〒723-0016 広島県三原市宮沖4-11-1

TEL : 0848-62-2151 (三原高校内)